

報道発表資料
令和8年 1月13日
高校教育課教育指導第二班
担当 大澤健史 渡邊伸明
電話 022-211-3649
メール ko-kyou@pref.miyagi.lg.jp

令和8年度宮城県立中学校入学者選抜適性検査における総合問題の出題ミスについて

令和8年1月10日（土曜日）に実施した宮城県立中学校入学者選抜適性検査において、下記のとおり総合問題の一部に出題ミスがあったことが判明したので発表します。

記

1 検査日 令和8年1月10日（土曜日）午前9時20分から午前10時20分まで

2 該当校 宮城県古川黎明中学校

3 受検者数

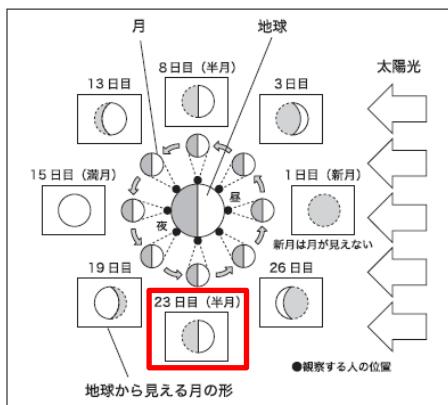
宮城県古川黎明中学校 204人（受検倍率1.94倍）

4 出題ミスのあった問題

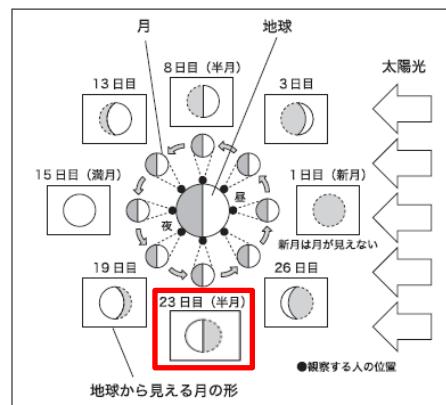
総合問題10ページ 大問3の3（2）

地球から見える月の形を示した資料8図bにおいて、23日目（半月）の図が間違っていたもの。

【誤】 図b



【正】 図b



5 対応

問題作成段階での確認作業が不十分であったことから誤りが生じ、受検生の皆さん等に御迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

大問3の3（2）の①と②について、受検者全員を正答として扱うこととします。

なお、適性検査は、総合問題のほか、作文、面接を実施し、入学者の選抜にあたっては調査書及び適性検査の結果に基づき総合的に審査します。

【参考】出題ミスのあった問題（古川黎明中学校・総合問題3の3（2））

（2）明さんは、展示されていたポスターの中で、月の見え方についての自由研究に興味を持ちました。資料8はその時に見たポスターです。あとの①、②の問題に答えなさい。

資料8 月の見え方についての自由研究のポスター

月の見え方が変わるのはなぜ

＜きっかけ＞

私は学校の授業で月の形が規則的に変わることを学んだ。その中で月の形と位置のそれぞれに決まりがあるのでないかと興味を持ち、自分で月を観察して月の形と位置の決まりを確かめてみたいと思った。

＜観察したこと＞

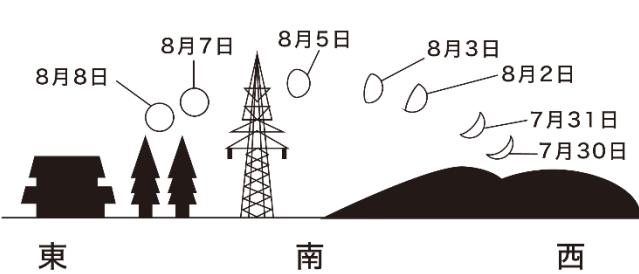
7月30日から8月8日までの間、晴れた日の午後8時に空を見上げて、月の形や位置を観察した。図aは、観察のスケッチである。

＜調べたこと＞

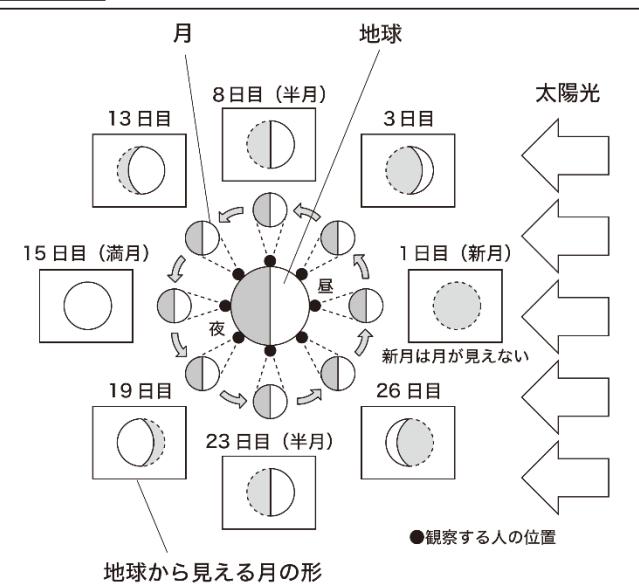
太陽と月の位置関係によって地球から見える月の形は、図bのように変化する。図bのように日々変化することを月の満ち欠けという。見える月の形は約29.5日で元にもどる。

月は自ら光る天体ではなく、私たちから見える月は、太陽の光が当たることで明るくなった部分である。

図a



図b



（国立天文台ホームページより作成）

① 「月の形や位置」とありますが、7月30日から31日後の8月30日の午後8時には、月はどのような形で、どの位置にあると考えられますか。資料8をもとに、もっとも適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 7月30日に見えた月より少し細い形で、位置はやや西寄りに見える。
- イ 7月30日に見えた月より少しふくらんだ形で、位置はやや西寄りに見える。
- ウ 7月30日に見えた月より少し細い形で、位置はやや東寄りに見える。
- エ 7月30日に見えた月より少しふくらんだ形で、位置はやや東寄りに見える。

② この自由研究を参考にして、明さんは月の観察を行いました。その結果、日ぼつ前には、三日月や半月が見えるのに、満月は見えないことに気づきました。資料8の図bをもとに、日ぼつ前に満月が見えない理由を、太陽と地球と月の位置関係にふれながら書きなさい。